

■第1期総合戦略期間における各年度ごとの成果目標（KPI）の達成状況

戦略体系	H27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	達成指標数	達成指標数	達成指標数	達成指標数	達成指標数
1. 産業力の強化と伊豆市ブランドの確立 “しごと”	3/11	4/11	4/11 (4/11)	3/11 (3/11)	4/11 (5/11)
2. 笑顔あふれる子育てタウンの創生 “ひと”	6/9	5/9 (6/9)	6/9 (7/9)	5/9 (7/9)	7/9 (7/9)
3. コンパクトタウン&ネットワークの推進 “まち”	4/12	4/12	4/12 (5/12)	5/12 (5/12)	8/12 (8/12)
達成指標 合計	13/32	13/32 (14/32)	14/32 (16/32)	13/32 (15/32)	19/32 (20/32)

※R1年度の達成指標数は下表「◎」と「○」の合計。（ ）内は、上方修正前の当初目標達成数

■R1（最終年度）実績評価

※目標値を既に達成…◎ 目標値の75%を超える…○ 目標値の75%に満たない…△、（ ）内は、上方修正前の当初目標値及び達成状況

戦略体系	プロジェクト名	指標	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	最終目標値 (当初目標値)	第1期 評価	R1取組状況・第1期総合戦略の取組みの総括		
地域の特性を活かして「しごと」を生み出すまち (産業力の強化と伊豆市ブランドの確立)	1. 観光ブランド創生プロジェクト	年間観光交流客数 (万人)	342	375	360	360	354	293	450	△	<R1取組状況> ○静岡デスティネーションキャンペーンにあわせて首都圏を中心にJR広告媒体を活用した誘客プロモーションや全9品の着地型旅行商品の造成を行った。 ○Wi-Fi整備として、修善寺駅周辺に6か所の公衆無線LANを整備した。 <第1期総合戦略の取組みの総括> ○国内プロモーションとしては、静岡デスティネーションキャンペーンの展開にあわせ、首都圏に向けた誘客プロモーションや大型観光展への出展、着地型旅行商品の造成に取り組んだ。 ○海外プロモーションとしては、静岡ツーリズムビューローといった広域的組織と連携し、海外メディアなどを対象としたファムトリップの受入、モニターツアーの実施より誘客に努めた。 ○H30年度の世界ジオパークへの認定を受け、伊豆半島ジオパーク推進協議会と連携しながら、市民ツアーや出前講座、ジオガイドの養成等に取り組んだ。 ○修善寺駅・修善寺温泉・土肥海水浴場周辺など主要な観光エリアに公衆無線LANの整備を進めた。		
		観光客一人当たりの観光消費額 (円/年)	15,802	15,802	15,444	17,994	17,602	*	18,300 (16,800)	△ (◎)			
		年間外国人宿泊客数 (人)	12,700	51,503	56,293	29,906	41,269	49,452	112,700	△			
		年間スポーツ交流人口 (人)	78,551	83,081	79,165	86,909	84,605	75,321	100,000	△			
		オリンピック事前合宿の誘致件数 (件/延べ)	-	0	2	5	6	6	10	△			
	2. “森と農” 活力創造プロジェクト	市内新規就農者数 (人/延べ)	-	0	0	2	5	7	5	◎	<R1取組状況> ○新規就農者として、2名が就農に繋がった。(地域おこし協力隊1名・移住者1名) ○「わさび」を中心とした地域振興を図るため、わさびの郷構想を策定した。 ○イズシカ問屋の衛生管理・安全性が高く評価され、県内初の国産ジビエ認証を取得した。 <第1期総合戦略の取組みの総括> ○新規就農者としては、5年間で6名(地域おこし協力隊3名・移住者3名)が就農し、林業就業者についても、5年間で13名が就業に繋がり、ともにKPIを達成した。 ○「わさび」の世界農業遺産の認定を契機に、商品認定制度を活用しながら販売促進を図っている。また、わさびを中心とした地域振興を進めるため、「伊豆市わさびの郷構想」を策定した。 ○「イズシカ」については、国産ジビエ認証を取得した高い安全性でブランド力を高め、市内外に販売促進を進めた。		
		市内林業新規就業者数 (人/延べ)	-	4	10	12	13	13	14 (8)	○ (◎)			
	3. 商品価値・販売力向上プロジェクト	催事出店者数 (件/年) 【件/延べ】	-	3 【延べ3】	13 【延べ16】	6 【延べ22】	11 【延べ33】	10 【延べ43】	20 【延べ100】	△	<R1取組状況> ○事業者の販売力向上に向けて、催事出店者補助制度による支援を進め、10件の利用があった。 ○美伊豆との連携により大都市での各種展示会への出展を行った。 <第1期総合戦略の取組みの総括> ○販売力向上として催事出店者補助制度の活用を促進し、5年間で43件の利用があった。 ○伊豆市ブランドとして「アマギフト」を立ち上げ、全22品の市内産品をブランド品に認定し、首都圏百貨店での期間限定販売や、市内店舗(道の駅伊豆月ヶ瀬)での販売を開始した。 ○DMOを中心とした市内各種団体との連携により、修善寺駅西口広場を活用したイベントや、首都圏における物産展への出展を行った。		
			企業誘致件数 (件/延べ) 及び従業者数 (増加人数)	件数	-	0	0	1	1	1		3	△
			人数	-	0	0	1	1	2	45			
	4. 働く場の確保と雇用マッチングプロジェクト	空き店舗解消数 (件/年) 【件/延べ】	-	0 【延べ0】	4 【延べ4】	4 【延べ8】	2 【延べ10】	7 【延べ17】	3 【延べ15】	◎	<R1取組状況> ○創業支援では、創業者支援補助金の活用が8件あり、創業を通じて7件の空き店舗を解消した。 ○サテライトオフィスを活用した企業誘致を促進するため、旧狩野幼稚園を改修し、狩野ベースを整備した。 <第1期総合戦略の取組みの総括> ○創業者支援補助金を通じて、5年間で28件の新規創業を支援した。また、創業を通じて17件の空き店舗の解消にも繋がった。 ○企業誘致では、土肥地区において1社の誘致に成功し、地元住民の雇用にも繋がった。 ○就労機会の拡充として、H30年度・R1年度に伊豆の国市と合同で就職説明会を開催した。 ○U・Iターンの促進については、主に学生を対象とした取り組みとして、県や美しい伊豆創造センターと連携し、首都圏での就職説明会やインターンシップツアーを実施した。		
		新規創業者件数 (件/年) 【件/延べ】	-	2 【延べ2】	8 【延べ10】	5 【延べ15】	5 【延べ20】	8 【延べ28】	6 【延べ30】	◎			

■第1期総合戦略における成果指標（KPI）の総括

第1期総合戦略における戦略体系ごとのKPI達成状況としては、以下のとおりとなっている。

1. 産業力の強化と伊豆市ブランドの確立…11指標のうち4指標達成
2. 笑顔あふれる子育てタウンの創生…9指標のうち7指標達成
3. コンパクトタウン&ネットワークの推進…12指標のうち8指標達成

全32指標のうち19指標達成 (59.4%) という結果となった。なお、平成28年度より毎年実績評価を実施し、都度指標の見直し・上方修正を行ってきており、当初設定した目標数値でみると全指標の62.5%にあたる20指標を達成している。

令和2年2月には、第1期の施策評価や市民アンケート結果等を踏まえながら、令和2～6年度の5年間で達成すべき目標や目標実現に向けたプロジェクトを盛り込んだ第2期総合戦略を策定しており、この第2期総合戦略に基づいた取り組みを進めていくことで、人口減少の抑制と魅力あるまちづくりを目指していく。

戦略体系	プロジェクト名	指標	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	最終目標値 (当初目標値)	第1期 評価	R1取組状況・第1期総合戦略の取組みの総括	
すべての世代が いきいきと暮らし 続けられるまち (笑顔あふれる 子育てタウンの 創生)	1. 未来を拓く 教育プロジェクト	学校教育の満足度 (%)	80	92.1	93.3	93.2	93.3	93.2	95 (85)	○ (◎)	<p>< R1取組状況 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新中学校の整備に向けて伊豆市新中学校整備基本構想を策定した。 ○ALTを1名増員し、市内の小中義務教育学校生に対して7名のALTを配置した。 ○自然体験や社会体験などにより歴史や文化を学べる「ふるさと学級」を実施し、R1年度は40名が参加した。 ○修善寺小学校区に「だるまっこくらぶ」、南小学校に「あゆっこ」を開設し、放課後児童クラブを市内8か所に増加。R1年度は284人の児童の利用があった。 	
		学校再編計画に基づく小中一貫校の設置 (校/延べ)	-	0	0	1	1	1	1	1	◎	<p>< 第1期総合戦略の取組みの総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○共働き世帯や就労希望の保護者のニーズに対応するため、放課後児童クラブを増加し、子育て環境の充実を図った。 ○ALTを1日単位で学校に配置することで、授業だけでなく、休み時間や給食の時間でも英語に触れあうことができる機会を確保した。 ○平成30年4月に土肥小中一貫校を開校。英語ルームへの4面投影可能なプロジェクター設置や全普通教室への大型モニターの導入等により、充実したICT教育環境を整備した。
	2. みんなで子育て 応援プロジェクト	子育て支援サービスの満足度 (%)	66.9	65.7	64.4	63.6	67.6	69.9	80	△	<p>< R1取組状況 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○R1年10月より子育て世代包括支援センター「にじいろ」を開設し、妊娠期から出産・子育て期までの切れ目ない支援に向けた相談窓口機能の充実を図った。 ○国の保育料の無償化の対象とならない第3子以降の副食費の免除を実施した。 	
		保育園の休日保育、19時までの延長保育 (施設数)	-	0	3	3	3	3	3	4 (2)	○ (◎)	<p>< 第1期総合戦略の取組みの総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○修善寺東こども園・土肥こども園で休日保育を、認定こども園あゆのさとで19時までの延長保育を開始し、保育サービスの充実を図った。 ○H29年2月に市内で子育て中のママ達から募集し「伊豆市子育てママスタッフ」を設立。情報誌「familyizu」の作成 (R3年1月現在で第10号まで発行) や、子育てイベント「ママフェス」の実施により、子育てプロモーションの実施、子育てを楽しめる場の創出を図った。 ○H29年4月からこども医療費の無料化を実施。H30年10月からは対象年齢を18歳年度末まで拡大し、負担軽減を図った。 ○子育て中の親子が集まれる場所として、天城湯ヶ島支所庁舎内に隔週土曜日にも開く子育て支援センターを開設した。
	3. 多世代交流 拠点創出プロジェクト	多様な世代が利用できる「まちの居場所」の整備件数 (件/延べ)	-	1	4	4	5	11	5 (2)	◎	<p>< R1取組状況 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内8箇所でロコトレ教室を開催。教室参加者によるOB会の立ち上げが進んだ。また、R1年度からは、より効果的な介護予防を推進するため、ロコトレOB会での運動機能の評価を開始した。 ○「認知症お助けノート」の内容の見直しを行い、関係機関への周知を行った。 	
		お達者度 (65歳から元気に自立して暮らせる期間) (年)	男性	17.13	17.35	17.37	17.48	18.36	18.71	17.50	◎	<p>< 第1期総合戦略の取組みの総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の居場所づくりを推進し、住民の自主グループや地域づくり協議会などにより、計11か所の居場所が開設されるなど、住民主体の高齢者支援が進んだ。 ○H28年度に「認知症お助けノート」を作成し、全戸配布を行った。また、R1年6月には内容の見直しを行い、認知症への正しい理解と対応を周知した。 ○げんきプロジェクト (伊豆市独自の減塩・運動・禁煙を3本柱とした健康づくり事業) として、ノルディックウォーキングや若返り運動、お腹スッキリ運動教室などを開催することにより、運動のきっかけづくりを推進した。
			女性	20.99	21.30	21.30	21.48	21.77	21.65	21.50		
	4. 豊かな暮らし 移住促進プロジェクト	ワンストップ窓口を通じた移住件数 (件/年) 【件/延べ】	-	17 【延べ17】	12 【延べ29】	13 【延べ42】	13 【延べ55】	23 【延べ78】	20(5) 【延べ100 (20)】	◎	<p>< R1取組状況 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○窓口への相談は189件あり、23件の移住が成立した。 ○R1年度より土肥地区にある旧土木事務所官舎を改修したお試し住宅を開始した。 ○移住に関する情報発信を強化するため、移住定住サイト「いずぐらし」を作成した。 ○定住補助金については、年間39件141人の活用があり、うち市内定住者が22件81人、市外からの移住者が17件60人であった。賃貸補助は3件6人の申請があった。 	
		ふるさと納税による寄付件数 (件/年) 及び金額 (万円/年)	件数	37	1,660	2,815	1,797	2,256	2,794	5,000 (200)	◎	<p>< 第1期総合戦略の取組みの総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○窓口機能の充実やお試し住宅の開設、移住定住サイトの作成等により、移住定住の推進を図った。 ○H30年度に「ひとり親移住定住促進計画」を策定し、ひとり親の移住と旅館業への就業をサポートする取り組みを進めた。 ○ふるさと納税については、掲載サイトを1社から3社に広げたことで、寄付件数・寄付金額の増加に努めた。
			金額	325	3,627	22,449	25,906	39,677	61,262	30,000 (4,000)		
	5. 若者交流プロジェクト	婚姻件数 (件/年) 【件/延べ】	92	100 【延べ100】	96 【延べ196】	89 【延べ285】	76 【延べ361】	91 【延べ452】	112 【延べ560】	△	<p>< R1取組状況 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○結婚相談所を計12回開設。ふれあいイベントを開催する予定であったが、参加者が集まらず中止となった。 <p>< 第1期総合戦略の取組みの総括 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○月1回の結婚相談所の開設や年1.2回程度の婚活セミナー・イベントの開催により婚活支援を実施した。 	

戦略体系	プロジェクト名	指標	基準値	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R1実績	最終目標値 (当初目標値)	第1期 評価	R1取組状況・第1期総合戦略の取組みの総括
自然環境と調和した持続可能なまち 〈コンパクトタウン&ネットワークの推進〉	1. コンパクトタウン環境整備プロジェクト	都市計画見直しによる鉄道駅から約1km圏内への住宅立地件数(件/延べ)	-	-	-	7	29	43	20	◎	<R1取組状況> ○都市計画の見直しにより、鉄道駅から約1km圏内への住宅立地件数が14件増加した。 ○歩行者空間創出整備計画における短期的な実施項目のうち、歩道のフラット化や交差点部の着色などを新たに2箇所で実施した。
		歩行者空間整備箇所数(箇所/延べ)	-	0	0	1	1	3	2	◎	<第1期取組みの総括> ○H29年3月に修善寺地区の市街化区域と市街化調整区域の線引きを廃止するなど都市計画の見直しを実施。鉄道駅から約1km圏内への住宅立地件数が延べ43件増加した。 ○修善寺駅周辺の歩行者空間整備のため、H29年度に伊豆市中心市街地歩行者空間創生に係る整備計画を策定し、歩道のフラット化や交差点部の着色などを実施した。 ○ユニバーサルデザインの推進については、修善寺駅周辺整備事業として北口階段手すりおよび南口横断歩道の整備を行ったほか、修善寺駅の多言語案内看板の設置が完了した。
	2. 邑のにぎわい創生プロジェクト	地域振興拠点(小さな拠点)の整備(箇所/延べ)	-	0	2	2	2	3	3	◎	<R1取組状況> ○天城湯ヶ島地区において、道の駅「伊豆月ヶ瀬」を開設した。 ○旧八幡小学校区において、地域づくり協議会の設立準備会を立ち上げ、設立に向けた支援を行った。
		地域づくり協議会の設立件数(団体数)	2	3	4	6	7	7	7	◎	<第1期取組みの総括> ○地域振興拠点づくりについては、中伊豆地区は子育てママを対象とした旧さくらこども園でのレンタルスペースの試行、天城湯ヶ島地区では旧湯ヶ島小学校・湯ヶ島幼稚園を改修した拠点づくりや伊豆縦貫道月ヶ瀬ICに隣接した道の駅「伊豆月ヶ瀬」の開設、土肥地区では、旧土肥小学校のお試し活用を推進しながら、活用事業者の公募を検討するなど、各地区において空き公共施設の活用などにより拠点づくりを進めた。 ○地域づくり協議会に関しては、期間内に7つの協議会が設立した。また、修善寺東小学校区においては勉強会を行い、設立に向けた準備を進めている。
	3. 安心快適ネットワーク創生プロジェクト	いきいきパス(高齢者バス利用助成制度)利用者数(人/年)	206	212	232	238	253	260	300	△	<R1取組状況> ○地域内フィーダー交通(幹線から伸びる支線)について、中伊豆地区における実証実験を実施し、本格運行に向けた検討を進めた。 ○駿河湾フェリーについては、運航事業者の撤退表明を受け、県及び関係市町により一般社団法人を設立し、R1年6月より一社による運航を開始、経営戦略の作成を進めるなど利用促進を図った。 ○都市マスタープラン策定に向けた地域別ワークショップを実施し、道路や交通ネットワークのあり方について検討を進めた。
		バス停及びバス待ちスペースの整備(箇所/延べ)	-	2	2	2	3	3	5	△	<第1期取組みの総括> ○バス路線維持に向けて、小中学生・高校生の通学に対してバス定期券の補助を行った。また、高齢者に対するいきいきパスに関して利用促進を行い、利用者が増加した。 ○バス待ちスペースについては、H27年度に大滝バス停と八木沢バス停を整備し、H30年度に八幡区において整備を実施した。 ○地域内フィーダー交通に関しては、本格運行には至らなかったが、持続可能な交通ネットワーク構築の実現のため、今後も地域との協働による公共交通の維持に向けた取り組みを進める。
	4. 地域防災力強化プロジェクト	防災フリーメール登録者数(件/延べ)	3,355	3,412	3,741	4,264	4,812	5,682	5,000	◎	<R1取組状況> ○広報等での周知により防災フリーメールの登録者数が増加した。 ○津波ハザードマップを作成し、R2年3月に土肥地区の各戸に配布した。
		女性消防団員数(人)	-	7	7	7	7	7	12	△	<第1期取組みの総括> ○防災フリーメールの登録者数増加に向け、各地区の防災訓練や情報伝達確認訓練、各種イベントの際に、登録の呼びかけを行った。 ○女性消防団員の確保に向け、市内こども園・保育園での花火教室の開催やFMISへの出演、ママフェス(子育てイベント)での活動PRを行った。 ○H29年12月に津波防災地域づくり推進計画<第2版>を策定し、土肥地区において津波災害特別警戒区域の指定を受けた。津波対策施設として期間中に2基の津波避難タワーを整備したことで延べ3基となった。 ○地区防災計画を修善寺1地区、土肥4地区の計5地区で策定し、共助の推進を図った。 ○避難行動要支援者名簿の見直しを行いながら、個人別に実効性のある支援計画を策定した。
	5. 空き家・空き地活用プロジェクト	空き家活用による定住件数(件/年)【件/延べ】	-	4【延べ4】	2【延べ6】	1【延べ7】	2【延べ9】	4【延べ13】	5【延べ25】	○	<R1取組状況> ○H27年度の空き家実態調査から年数が経過したため、改めて調査を行うことにより、現状把握を行った。 ○各地区からリストアップされた危険性のある空き家の所有者に対し、除去を行うよう助言・指導を行った。
		危険空き家への対応件数(件/延べ)	-	0	1	6	9	9	8(3)	◎	<第1期取組みの総括> ○空き家の把握と有効活用に向けて、空き家バンク制度を中心に空き家情報の把握に努めるとともに、空き家の片付けを支援する補助制度の創設に向けて検討を行った。
		公共公益施設の新たな利活用件数(件/延べ)	-	1	1	2	4	4	4(3)	◎	○H28年度に公共施設の総合かつ計画的な管理方針を示した「伊豆市公共施設等総合管理計画」を策定。H30年度には、この計画に基づき計画的な施設の再編・再配置を推進するため「伊豆市公共施設再配置基本方針」を策定した。 ○公共施設の新たな利活用としては、旧狩野幼稚園園舎を改修したサテライトオフィスの開設や旧土肥小学校を民間業者に活用してもらうための公募に向けた検討を進めた。
		市が管理する公共施設の延床面積(m ²)	186,543	181,308	180,775	180,760	179,545	180,107	150,000	△	○危険空き家については、景観重点地区指定にあわせ、観光協会、企業、住民主体による景観支障木の伐採および危険空き家の撤去が進んだ。